



おおくわ

議会だより

第142号

平成27年10月22日発行

発行 大桑村議会

議会報編集特別委員会

長野県木曽郡大桑村長野2778

電話 (0264)55-3080



大桑村消防団女性消防隊 10月15日全国女性消防操法大会に出場

9月定例会



平成26年度決算審査

2



一般質問

8名が登壇、村政を問う

8



議員活動報告

木曽郡議員総会

17

総合計画初年度の予算成果を 次年度へ反映

9月 定例会

◆平成26年度 決算状況 ※千円以下を切り捨てて表示 (単位:万円)

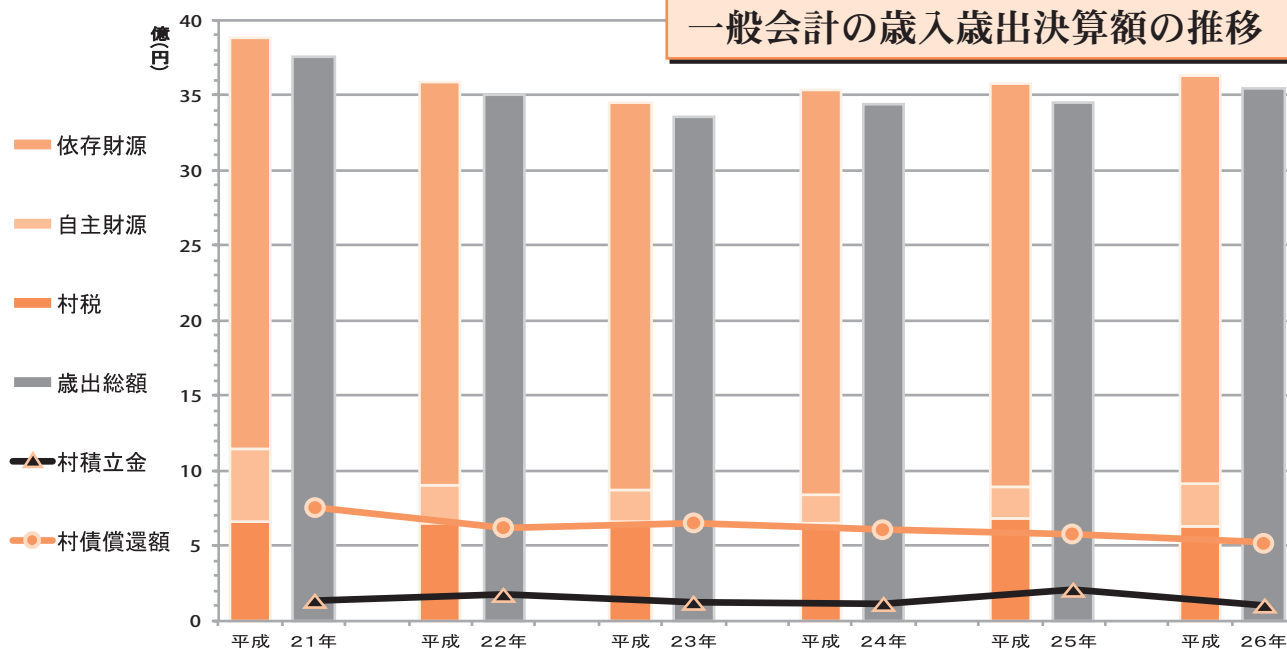
会計名	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	362,803	355,057
村営水道事業	25,686	25,453
国民健康保険事業	41,084	39,518
農業集落排水事業	12,278	12,122
公共下水道事業	10,396	10,264
後期高齢者医療事業	6,339	6,332

村道伊奈川一号線

9月定例会は、9月15日から29日までの15日間の会期で開かれ、諸報告の後、陳情1件を審議。一般質問(8名11件)が行われた。

村長提出議案(条例改正等5件、補正予算4件、請負契約3件)、平成26年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定などが上程され、慎重審議可決した。また、議員発議4件を審議し、教育委員会委員の任命について原案に同意した。

一般会計の歳入歳出決算額の推移



◆一般会計の歳入歳出決算額、自主財源率、依存財源率、村積立金、村債償還額の推移

※千円以下を切り捨てて表示 (単位:万円)

		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
歳入	歳入総額	388,722	359,193	345,552	353,959	357,791	362,803
	歳入のうち村税額	66,688	65,011	66,153	64,930	68,352	62,987
	自主財源率	29.4%	25.3%	25.4%	23.9%	24.9%	25.4%
	依存財源率	70.6%	74.7%	74.6%	76.1%	75.1%	74.6%
歳出総額		375,306	350,014	335,256	344,223	345,057	355,057
村積立金額		13,825	17,537	12,740	11,444	21,070	10,105
村債償還額		75,327	62,095	65,097	60,809	57,973	52,348

平成 26 年度決算

歳出総額

44億8,750万円

認定

第5次

決算審議

税の滞納

Q 村税の新規滞納者が32人と昨年度比17人増となっている要因は。

A 景気の後退が大きな要因。又、26年度から住民税や固定資産税の徴収基準が変わり、1回当たりの納付する税額が多くなったことも要因と考えられる。

Q 県の滞納整理機構に依頼した件数は。

A 住民税と固定資産税の2件である。

Q 税滞納者の分割納付は。

A それぞれの事案を精査し、分納での納税が真にやむを得ない場合、確実な納税を前提に認められる。

法人村民税

Q 法人村民税の大幅な減収は、企業の実績に伴うものということであるが、業種別の今後の見通しと対応は。

A 個別の業種については難しいが、例えば、電力など大きな企業の業績が悪いと一気に大幅な減少となる。従って、経済情勢を見ながら見通しを立てる。



下在郷分館

決算審査所見 (抜粋)

監査委員 奥田斗生
同 水野 進

平成26年度決算審査は、8月3日から8月21日までの間の7日間、審査該当事業のうち書類47件、現地19件、出先機関5か所について実施し、その他税等の徴収状況及び主要な施策の決算状況の審査を行った。

■主要事業

平成22年度から約6億8千万円を投じ実施してきた、村道伊奈川一号線改良工事が平成26年度で完成した。変更工事を余儀なくされたが、適切な判断で工事を実施してきたことについて努力を評価する。工事全般について施工業者より出された工事書類は、精度なものに定着してきたと判

断する。

■負担金補助及び交付金

おおむね有効に活用されていると判断した。なお、繰越額が多額な団体については事業実績や事業内容に応じた適正な金額を配分するよう検討されたい。

■税等の滞納と徴収

平成26年度末村税等の滞納者は、172件、前年度より32件の増となった。又、水道料金等の滞納者も増加している。公平性確保の観点から滞納整理に取り組むとともに、新規滞納者に対しては早期に適切な納付指導を行うようお願いする。

■不能欠損処分

村税及び国保税の不能欠損処分について、地方税法第15条の7第1項第1号の「滞納処分をすることができない財産がないとき」の規定に基づく処分を行った結果、38件、

1097万円と多額な不能欠損処分となっている。処分に至るまでの調査については適正に実施されたと認められるが、今後も厳正に対処されるよう要望する。

■むすび

平成26年度は、大桑村第5次総合計画の初年度として意欲的な取り組みを評価する。

施策、決算状況、基金残高等の審査の結果、一般会計、特別会計ともに予算に対して効率よく、かつ適正に執行されていると判断した。平成27年度においても職員一人ひとりが常にコスト意識を持って、効果的・効率的な予算執行に心がけ、経費の見直し及び税等の滞納に対し適正な対応をするよう期待し、村民の立場に立った行政運営に誠意努力されることをお願いする。

平成 27 年度 一般会計 補正予算審議

村単道路維持、庁舎建設積立金など

1 億 3,413 万円を追加

村道・河川整備

Q 村道大島中央線の改良工事は、庁舎建設に伴う道路改良だと思いが、どんな改良を予定しているのか。

A 通学路や全体的な幅員も含め、検討していくものである。

Q 宮の沢の土砂の撤去について今後の予定は。

A 現状、木に被われて河川が見えない状況。草など除去し、河川については今後、護岸の整備をしていきたい。

松くい虫等の対策

Q 松食い虫やナラ枯れの現状は。

A 松食い虫については駆除の成果が出ていると判断している。今後初期段階で処理していきたい。



改良する村道大島中央線

阿寺溪谷大型バス通行規制

Q 今年のお盆休みは阿寺溪谷への入り込み客が多く、大型バスの乗り入れで、車の通行などに支障をきたした。緊急時にも問題になる。バスの通行規制ができないか。

A 阿寺溪谷管理運営協議会で協議し、夏の規制についても検討していきたい。

雨量計の増設

Q 放射線量の測定について終了の目途は。

は。

A 国道事故などによる影響も考えられるため、今後も継続して測定していきたい。

Q 降雨災害の発生に備え、雨量計の増設へ方向を変えられないか。

A 現在3箇所あり、増設は考えていない。

選挙投票所の増設

Q 選挙での投票率が低下している。当日の足の確保としてバスの運行や集会所などでも投票出来るように投票所を増やしたり、ポスター掲示板の増設など検討出来ないか。

A 現状ではバスの運行や投票所の増設は考えていないが、投票率を上げるために検討したい。

会計別補正状況

(単位：万円)

会 計	補 正 額	総 額	主な内容 (歳出)
一 般 会 計	13,413	356,520	庁舎建設基金追加 7,000
			村単道路維持・新設改良追加 1,226
			河川維持経費追加 865
			戦後70年事業冊子印刷 151
村営水道事業特別会計	127	27,781	施設修繕料追加 57 量水器取替委託料追加 35
国民健康保険事業特別会計	71	41,998	出産育児一時金追加 126
農業集落排水事業特別会計	130	11,103	施設修繕料追加 63

こんなことが決まりました

マイナンバー制度に伴う条例改正、歴史民俗資料館増改築工事請負契約など可決

条例改正

●情報公開及び個人情報保護に関する条例の一部改正

国の法律で新たに定義された特定個人情報情報の適正な取り扱いを確保するため関係条文の改正

●手数料徴収条例の一部改正

マイナンバー制度における通知カード及び個人番号カードの再交付手数料を定める条文の追加

●体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

殿ゲートボール場廃止に伴う条文の削除

●教職員等住宅管理条例の一部改正

教職員等住宅の管理移管に伴う条文の削除

●村営住宅管理条例の一部改正

福島復興再生特別措置法の一部改正に伴う

請負契約

村営住宅の入居資格に関する特例規定の改正

●小型動力ポンプ付積載車購入（軽積載車2台）

契約の方法

指名競争入札

契約金額

1171万8千円

契約の相手方

松本市石芝

コバボースシステム株式会社

代表取締役 遠藤光明

●大桑村官行造林立木

売買契約

所在地

大桑村野尻2285番

17 外10筆

面積・数量

面積 119・64㎡

樹種 ヒノキ外

本数 9万6254本

材積 4万5080㎡

契約予定額

2862万円

契約の相手方

南木曾町読書

中部森林管理局木曾森林管理署南木曾支署

支署長 酒向邦夫

●大桑村歴史民俗資料館増改築工事請負契約

契約の方法

指名競争入札

契約金額

5702万4千円

契約の相手方

木曾町福島

松本土建株式会社

所長 百瀬隆史

陳情

●年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書の採択を求める要請書

陳情団体

日本労働組合総連合会

長野県連合会

会長 中山千弘 他

結果

全会一致 採択

人事

●教育委員会委員の任命について

大桑村野尻

山本 由幸氏

同氏の任命に全会一致で同意



発議

●大桑村議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例

提出・賛成議員

細田 光一

結果

反対多数 否決

賛成多数 採択

●大桑村議会議員の議員報酬に関する条例の一部を改正する条例

提出・賛成議員

細田 光一

結果

反対多数 否決

●大桑村議会傍聴規則の一部を改正する規則

提出議員

古畑 昌夫

賛成議員

鈴木 武

沼 友行

結果

全会一致 可決

●違憲の安保関連法案を採決せず廃案することを求める意見書について

提出議員

古畑 昌夫

賛成議員

沼 友行

瓜尾美佐子

結果

賛成多数 採択

委員会報告

総務社会 常任委員会

◎ 8月4日開催

▼保育園夏季希望保育 状況の視察調査

夏季希望保育は、園児の体力や健康への配慮、保護者の夏季休暇や小学校の夏休みに合わせ園児を休ませる家庭が多い状況を踏まえての措置との説明であった。事前に希望調査を行い、通園バスの運行も実施し、通常保育と同等の保育サービスが提供されている。

▼夏休み子ども教室実施状況の視察調査

多目的ホールを使用し、安全管理員を配置。生涯学習的な内容



夏季希望保育を視察

と、保護者の就業に伴う預かりという二つの考えを連携した取り組みとして進めているとのことである。ニーズの高い事業であるので、実施方法を検討しながら安全に継続されることを期待する。

▼歴史民俗資料館詳細設計決まる

増改築工事の詳細設計の内容について説明を受けた。

工事金額約5700万円、完成は、28年3月中旬の予定。

増改築後の運営について、展示物の選定や展示内容、多目的室の活用方法等を運営委員会や学芸員等と十分検討するとともに長期を見通した管理体制作りの必要性を感じた。

(報告者 鈴木 武)

経済建設 常任委員会

◎ 8月28日開催

▼大桑橋の詳細設計決まる

橋梁の長さは153・5メートル、形式は「鋼3径間連続非合成箱桁橋」が比較検討の結果最適であると決定した。

比較検討の評価項目は、経済性、構造的性、竣工性、環境への適応性、維持管理。

概算工事費は約13億円。工期については、

旧橋の撤去を含めおおよそ平成32年度竣工予定。取り付け道路については、県が平成28年度から用地測量等の事業を始める。

▼村道大桑駅線通行規制

国道19号線改良工事が今年度中に終了し、

完成後は交通量の増加が見込まれるため、JRガード下を国道からの侵入のみの一方通行とする説明があった。

国道へ出るルートが関山方面のJR踏切と、中山から出る2ルートとなる。両ルートとも拡幅工事を予定している。

▼橋梁の通行規制

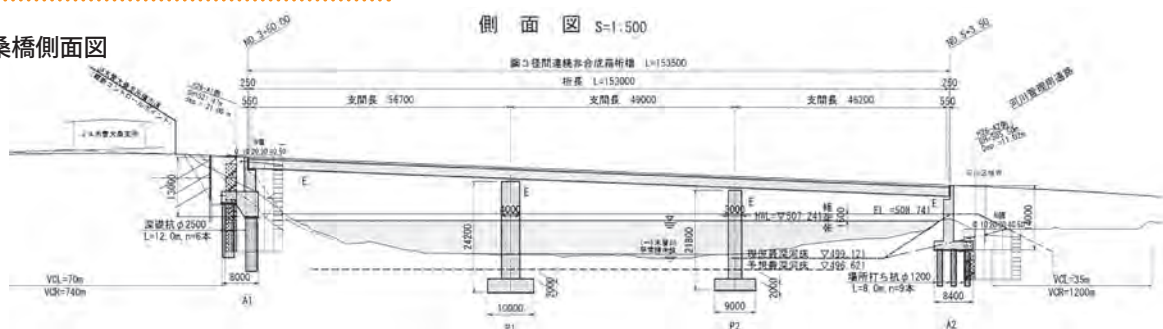
関西電力所有の2橋(殿大橋、満寿太橋)は10トン以上、県道須原大桑停線伊奈川橋については6トン以上の車両通行規制を行う。

(報告者 沼 友行)

鋼3径間連続非合成箱桁橋

構造物(橋台・橋脚)の支点と支点の間が3箇所あり、橋(主桁)が橋脚部で途切れることなく1本で連続しており、鋼板で組み立てられた主桁の断面形状が箱形の鋼橋。

大桑橋側面図



庁舎建設 特別委員会 報告



愛知県設楽町役場視察

▼視察研修報告

◎日時 9月30日

◎場所 愛知県設楽町

飯田市

各庁舎を視察

◎視察内容

議会施設、住民サービス機能、防災拠点機能、
庁舎の設備等を主に視察した。

どちらの新庁舎も地元産材を豊富に使用し、あ
たたく親しみのある庁舎だった。

設楽町の議場は天井高を確保し、ゆったりと風

格があり、椅子や机は移動が可能で多目的に利用
ができるようになっていた。

飯田市も議場床面はフラットで車いす対応の傍
聴席や危機管理センターに隣接していて災害対応
や他の利用も可能な議会施設となっていた。

住民サービスは、便利で分かりやすいよう目的
別に色と番号で区分するなど、工夫がされていた。
今後も特別委員会として住民に開かれた議会施
設、分かりやすい住民サービスなど、より便利で
使いやすい新庁舎となるよう提言していく。

(報告者 下起幸一)

一 般 質 問

議員8人が

村政を問う

9月定例会の一般質問は15日に5名8件、18日に3名3件を
行いました。質問議員が要約したものを掲載します。

◆一般質問とは◆

一般質問は、村が行うすべての事務や事業
に関して何でも質問できる大事な議員活動の
場です。

年4回の定例会のみで、臨時会ではできま
せん。

・質問時間は30分

大桑村議会では、議員が質問できる時間は
答弁を含め1件30分以内です。

・一問一答方式

質問は、一つ質問をして一つの回答を得る
一問一答方式です。

この方法は、より問題を深められる方法と
いわれています。

・事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を
記した事前通告書の提出を義務付けています。

質 問



下起 幸一 議員



和牛繁殖センター（伊奈川）

畜産に対する振興策は
他町村との施策を参考に
検討する

Q 農水省が公表した
2014年度食料
自給率は全国平均、カ
ロリーベース39%（5
年連続で低迷）生産額
ベース 64%（過去最
低）となっている。
村の農業の基幹作目で
ある畜産を見ると農業
従事者の高齢化やTP
P、素牛価格の高騰な
どで将来に不安があ

A J Aの和牛繁殖セ
ンターとの関係も
考慮し、他町村との施
策を参考にどのような
補助の仕方があるか検
討したい。

A 農業所得向上には
6次産業化は有効
の考えは。

Q 中山間地域である
わが村の農業所得
の向上には、6次産業
化の推進が必要と考
える。経営や販路開拓に
知識や経験を得られる
場の提供や後押しが必
要。人材育成、商品開
発、販路開拓に対して
の考えは。

だが現在では難しい。
核となる特産品を地域
で作ることが先決と考
える。

意見 第5次総合計画で
も農畜産物の生産
性、品質の向上促
進、農業の6次化の研
究・推進を掲げている。
確実な対応を。



道の駅大桑 農産物直売所



Q&A 村政を問う

般

鈴木 武 議員

新庁舎の規模は 慎重であるべき

……
議会等と相談し
住民の総意で進める

Q 庁舎建設基本構想を基に保健センターと中央公民館、図書館等の機能を備えた複合施設として検討中である。中でも図書館機能が色濃く感じることが、どのような経緯によるものか。

A 村に足りない文化施設として図書館の整備が課題の一つであったこと、以前から要望があった。

Q 財政状況、今後の人口推移とともに既存の保健センター等の活用方法、パブリックコメント等、住民の意見を十分反映させ結論を出すべきではないか。

A 規模等については、議会や検討委員会の意向を伺い、パブリックコメントも行いながら住民の総意をもつて進めていきたい。



スポーツ公園内にある公民館図書室

Q マイナンバー制度の「通知カード」が、10月から郵送される。住民への説明は十分なされたと感じているか。

A 周知は行っているが、全ての住民が理解しているとは思っていない。今後も積極的な周知を心がけたい。

Q 全国の市町村の6割が安全対策に不安を感じているように

あるが、当村では不安要素はないか。

A 安全面に関しては、全職員を対象に説明会を実施している。国と連携・連絡を密にして、今後もセキュリティ対策に努めている。

Q 阿寺溪谷を訪れる人が年々増加しているが、マナー違反者も増加傾向にあり喜んでばかりではいけない。溪谷の環境保全は、村からの出費と住民ボランティア活動で保たれている。過去5年間の維持管理費は。

A 平成22年度は、公衆トイレ設置費が約1500万円要したこともあり、過去5年間で2400万円程度。

Q 「赤沢自然休養林」で実施している「協力費」を村外者に限り求めているのか。

A 駐車場の警備を管理会社に委託する、バスについては入山期間を設ける等を阿寺溪谷管理運営委員会と検討していきたい。協力金については、現在考えていない。



今夏もにぎわった阿寺溪谷

質 問



水野 進 議員

災害対応で連携・協働の あるべき姿は 住民と行政の一体化で対応

Q 災害対応で連携・協働のあるべき姿は。

A 長野県北部地震で、54棟が全半壊したが、住民の支え合いで死者はなかった。当村でも社協中心に住民支え合いマップ作成に着手し、現在10地域で作成されている。また、防火防犯組合は、災害状況の把握、報告、避難誘導を担い、消防団は避難誘導、救護、応

Q 現状における連携・協働上の問題点は。

A 支え合いマップが全地区で作成されておらず、作成10年経った地域では、見直し更新が必要なこと。関東東北水害の例から、

急処置を担う。村は防災意識を高め、災害時の確に避難勧告や指示を出し、住民が適時に避難できることが、その姿と考える。

意見

当村が30年以上、災害、避難経験がないことなどが課題となる。配布マニュアル等の不備修正や、住民活動の最小単位である「地区組織」を、昭和40年から半減した人口で支えることに無理はないのか。気象現象の極端化が進む中、土石流多発地域であり、震度6弱の震災も危惧される。従って、危機感を持って、真に



木曽病院 DMAT チームによるトリアージ訓練

Q 今後の体制強化と体策と進め方は。

A 現在、大桑村防火防犯組合が、3地

動ける仕組みへの改革が求められる。連携協働の強化は、村と地域・地区の結びつきを強化することである。地域・地区ごとに整備された施設と情報伝達網を活用すれば、災害対応能力は、格段に向上していると考ええる。

地域の組合を統轄し、消防団と連携しながら活動する形であるが、役割や位置づけ、活動内容等の整合性を進め、訓練を通じ、支え合いマップの実用性を検証する。なお、住民と行政がより近づくため、「地域と職員の、担当制」ということも今後検討していかねければならないと考えている。



住民による AED 訓練（災害時医療救護訓練）



Q&A 村政を問う

般

大前今朝男 議員

住宅リフォーム助成の

対象を拡大できないか

しっかりとした計画を立て
利用してほしい

住宅リフォーム助成

Q 一度きりの助成ではなく、限度内ならば二度三度の利用はできないか。

A 村の要綱では一度の利用となっており、郡内町村でも一度きりとなっており二度三度となると限度額を超える可能性があり不公平が出る。しっかりと計画し、申請してほしい。

Q 助成の内容に制限が多いがアウトテリア車庫等にも利用できるようなにはならないか。

A この助成は建物の

内外装の改修工事、居室、浴室、玄関、台所、トイレ等の増改築、下水道の接続工事を対象としており住環境の向上と空き家等の有効活用を目的としている。アウトテリア、別棟の車庫等は直接生活する



リフォーム補助金を利用した屋根改修

場ではないため対象としていない。

Q 40万円の助成は住民にはありがたいが、満額の利用は今までに半数程度と聞くと今後の対応は。

A 現在の要綱は平成28年度末までの期限要綱、対象工事や制度の存続を含め検討したい。

プレミアム商品券

Q 経過して5年ほどになるが経済効果はあったか。

A 昨年度は2385万の利用があった。これだけ村内で利用があったので経済効果はあった。

Q 多くの住民に利用されるのが良いと思うが今後の事業内容は検討されているか。

A この事業は大桑村商工会が主体として行っている。村は商工会への助成事業としており、事業内容、方法等は商工会が決めている。今後の事も商工会等の要望があれば支援してゆく。

木曽町職人育成支援事業補助金制度



500円券も発売されたプレミアム商品券

Q これは木曽町が今年から始めた事業で事業者の負担軽減、地元職人の育成を支援する事業であるが、村でも木造住宅産業に関わる職人の減少が進んでいる、村としてもこの制度を導入していくべきと思うが。

A 高齢化により技術を持った職人が少なくなっている事はある。後継者を育成することは大切なことと理解している。村でも事業者の要望があり県内の動向をみて検討したい。

質 問



細田 光一 議員

新庁舎建設の住民説明は

村政懇談会を実施

Q 新庁舎建設が本当に必要か否か、専門家による事前調査及び耐震補強の見積もり依頼も現在まで行われていない。このまま専門家による調査及び耐震補強の見積もりも得ないままで事業を進めていくのか。

A 専門家による打診を全く行っていないわけではない。過去の事例を参考に概略の経費は把握している。現庁舎における耐震補強が必要な面積は1300㎡。耐震診断費用は㎡あたり千円から2800円。よって耐震診断費用は130

万円から360万円。耐震設計及び耐震補強工事は㎡当たり1万5000円から5万円。必要金額は2000万円から6500万円。このように耐震対策だけで数千万円必要であり土砂災害警戒区域や立地上の課題、築55年を迎えるにあたって当初考えられなかった社会情勢の変化の中で庁舎に求められる機能も大きく変わってきていることも

含め、建て替えが最善であるとの判断に至った。

Q 耐震補強で数千万円必要であってもコスト面でははるかに有利ではないか。

A 耐震補強工事をしても中身の構造が変わるわけでなく老朽化も含め現庁舎の防災上の課題、窓口環境、執務環境が変化することで部分改修より全面的な建て替えの方が有利である。



役場庁舎

村政懇談会について

村長と意見交換をしませんか？
下記の日程で村政懇談会を開催します。
都合のよい会場へお出かけください。

開催日	会場
① 11月 2日(月)	須原地区館
② 11月 4日(水)	下在郷分館
③ 11月17日(火)	中央公民館
④ 11月20日(金)	野尻地区館

※時間は午後7時から9時まで。
(担当 役場企画係)

村政懇談会の回覧

Q 庁舎建設は村にとって50年60年先を見据えた大事業であり、今からそこを明確に予測することは困難ではあるが人口減少の傾向は避けられず村の運営面からも極力身軽な状態を保っていくことが望ましく、耐震補強対応がよいのではないかと。

A 現状で大桑村は、将来にわたって大桑村であり続けると感じている。これを前提に今回の庁舎建設になっている。

Q 6月議会における庁舎建設についての住民説明会開催の質問に対し、今はその時期でなく今後もその予定はないとの答弁であったが、今回大型事業に対する住民説明会は必要との表明があった。その内容は。

A 大桑橋や庁舎等、村が大きく変わろうとしている時に今までの村報のみでは無責任であると考えている。開催場所は4力所を予定し、11月に実施する。

おおくわ議会だより 第142号
平成27年10月22日発行



Q&A 村政を問う

般

瓜尾 美佐子 議員

「地方版総合戦略」は 住民参加で

若者・子育て世代を含む
総合戦略策定委員会で検討

Q 政府が自治体に計画の策定を求めている「地方版総合戦略」の基本的な考え方と進捗状況は。

A 村の将来の人口ビジョンや今後5年間の政策目標を作成することになる。住民参加の策定委員会を立ち上げ、7月に行った住民アンケートの結果を反映させ年度内には完成させる。

Q 若者や子育て世代の要望をどのように取り入れるか。

A 策定委員会に若者・子育て世代にも参加してもらい策定する。

Q 来年度予算から創設される新型交付金の活用で、学校給食費の助成はできないか。

A 無料化には1600万円の予算が必要となり、現状では難しい。



保育園給食（七夕行事食）

意見

子育て世代の核家族化、共働きの増加、雇用の不安定さによる貧困などで、ニーズが拡大、多様化している。引き続き子育てしやすい環境整備を求める。

Q 住宅増改築補助金は、下水道のつなぎ込み工事にも対応できるように改善されてきた。もっと広く住民が利用できるように、対象となる工事費用の

引き下げや利用回数などの検討を求める。

A 29年度、検討する。

Q 若者の移住支援の取り組みとして、地域おこし協力隊の積極的な活用について、提案してきたがどうか。

A まだ、検討中である。

意見

農業の6次産業化をすすめるにあたり、まずは特産品の開発からだが、人がいないと村長が答えている。思い切ってそういったところに活用できないか。郡下ではすでに地域住民と頑張つて活動している隊員もいる。前向きな検討を求めたい。



8月14日 成人式

質 問



古畑 昌夫 議員

大桑村の環境対策について
 条例・規則を制定し
 4月から運用したい



木質チップボイラーを見学（愛知県設楽町役場）

Q 環境問題と希少動植物の保護について質問したい。まず再生可能エネルギーについて、大桑村のこれまでの実績はどうか。

A 小学校に太陽光パネルを設置、個人の太陽光発電に対する

Q 助成は平成24年から今年度分も含めて25件で334万円余となっている。

Q 全国的には、買取制度が出来てかなり進んでいるが、全体として太陽光発電に偏っている。地方はエ

ネルギーの消費地であると同時に、自然エネルギーの資源を活かした再生が必要ではないか。

A 大桑村の木材資源の活用と、木曾全体の問題として検討する必要があると思う。

Q 林業大学と連携した人材の育成、独自の推進協議会の設置などが必要ではないか。

A 将来の問題として検討する必要がある。

Q 長野県でも、環境対策として規制を行い、27市町村が届出制を行っている。大桑村の対応はどうか。

A 環境条例と規則を来年度からの適用に備え準備している。

Q 今年の夏は阿寺溪谷に大勢の人が来て、大型バスの規制や自然を守るマナーの徹底など、積極的な対応が求められている。

A 夏場の大型バスの規制など、阿寺溪谷管理運営協議会でよく検討し対応したい。

Q 温帯性針葉樹林の保存・復元を目的にした「木曾悠久の森」計画と、11月に予定している講演会への積極的な協力を求めたい。

A 「木曾悠久の森」のPR、森の里の秋祭りへの写真の展示など、できることは協力していきたい。

A 夏場の大型バスの規制など、阿寺溪谷管理運営協議会でよく検討し対応したい。

Q 絶滅が心配されているもので、大桑村にはハナノキやヒメシャガ、ササユリなどがある。専門家とも連携し守る必要がある。

A 住民の方からも要望があり、県とも相談して対応したい。



温帯性針葉樹林（阿寺溪谷ヒノキ林）



Q&A 村政を問う

般

沼 友行 議員

木曽牛を観光の強力な 推進力に

木曽牛を使ったメニューで
工夫し販売している

Q 木曽牛のブランド化の推進により、中京圏から木曽へ来る観光客の増大につなげてゆけないか。

A 木曽牛の優良仔牛生産パワーアップ協議会とか、ブランド化に向けての組織があるのでブランド化に向けて、努めていきたい。それにより観光客が集まることに期待している。



木曽牛を使ったメニューを出すグルメリアきらく

Q 中京圏からいつ来ても、木曽牛を提
供できるようにするに
は。

A 木曽牛をつかった
メニューで工夫さ
れて販売をしている。

Q 農産物の生産に、
リーダーシップを
未永くとれる人を育
て、大桑村の風土に適

した作物が出来ない
か。

A 殿にチャレンジ農
園があり、農業普
及センターと協力を
して色々な作物をつく
っている。

Q 遊休農地を使い農
産物の生産ができ
ないか。

A 荒廃地を農地にす
るには、大変な労
力が必要。耕作者がい
れば、県の補助を使
い利用できる畑にし
ていきたい。

Q 木曽郡は南北に
60kmあり温度差を
利用して作物の収
穫期をずらして、
うまく農業

の6次産業化に
できないか。
A すんきが人気があ
り、カブが足りな
いので、南木曽と大
桑でリレー栽培して
いる。



チャレンジ農園（殿）

行政報告

■長野県議会現地調査

●危機管理建設委員会

8月24日

木曽川右岸道路の整備促進などの道路整備、河川改修や御嶽山噴火災害に関わる山小屋の機能整備、安全対策として情報伝達システムの構築など要望。

9月1日

激減した観光客の呼び戻しのための観光PRの促進、リニア中央新幹線工事に関連して、木曽全体の観光の振興、中央線のダイヤ改正など要望。

■県道須原・大桑停車場線伊奈川橋通行制限

木曽建設事務所等県道伊奈川橋の調査を行ったところ、鋼材の腐食が進み6トン以上的大型車両の通行制限が必要と報告があった。普通自動車、マイ

クロバスなどは通行可能。

■戦後70年企画展

戦争の時代のことを後世に残すため、「あのころの記憶展」を歴史民俗資料館で開催。これまでに約560人の方が訪れた。

■全国女性消防操法大会出場

第22回全国女性消防操法大会（横浜市）に大桑村消防団が長野県代表として出場。

■シェルビービル市訪問団派遣

10月16日から24日まで、公募で選ばれた高校生4名、村職員2名が渡米。

■木曽地域災害時医療救護訓練を開催

9月13日、木曽郡内の医療関係団体等と合同で防災訓練と災害時医療救護訓練が行われた。従来の訓練に加え、医療救護所を設置し、木曽病院のDMAT



戦後70年企画展

チームの派遣及び救護所においてトリージと応急手当、救急搬送の訓練を実施した。

■村事業発注状況

8月末現在、事業件数ベースで76%、予算ベースで70%。

着工した主な事業

- 緊急防災・減災事業
防災無線デジタル化整備工事
- 野尻地区公衆トイレ
建築工事
- 村道下在阿寺線改良
工事
- 村道長野殿線橋梁詳細設計業務
- 村道大野線橋梁修繕
工事

木曽広域連合議会報告

◎開催日 8月10日

◎場所 木曽文化公園

第1回臨時会には平成26年度一般会計補正予算。補正額712万8千円を可決。補正内容は主に、御嶽山噴火災害における行方不明者捜索経費。

▼全員協議会

新ごみ処理施設の建設の業者選定方式を、公募型プロポーザル方式とすることについて説明。

◎開催日 8月31日

◎場所 木曽文化公園

第3回定例会には平成26年度一般会計及び介護保険特別会計決算認定、平成27年度一般会計および特別会計補正予算、条例改正などが上程され、審議の結果、原案通り可決された。

▼平成26年度

主要事業・特記事項

平成26年度 木曽広域連合歳入歳出決算（単位：万円）

会計別	歳入 決算額	歳出 決算額	歳入歳出 差引額
一般会計	294,323	286,857	7,466
介護保険 特別会計	394,851	385,462	9,389
合 計	689,174	672,319	16,855

○災害対応特殊救急自動車更新。事業費は268万76千円。

○木曽クリーンセンター新炉建設の取組

○スポーツ振興基金「御嶽海」を応援

○介護保険事業
第5期事業計画の最終年度であり、基金への積立額は306万7千円。保険料滞納額は2千万円を超えた。

（報告者 木戸 勘一）

松塩築木曽老人福祉施設組合議会報告

◎開催日 7月22日

◎場所 塩尻市保健福祉センター

構成議員の一部変更による監査委員の選任、平成26年度一般会計補正予算専決処分報告があり承認された。

（報告者 細田 光一）

当組合は昭和44年松本、塩尻、東筑摩郡の市町村で、特別養護老人ホームなどの運営を共同で行うことを目的に設立。

昭和48年木曽郡が加入し、現在3市3町8村の14市町村の構成となり、主に特別養護老人ホーム10事業所を運営。

木曽地区の運営施設は、田立の「あすなろ荘」、三岳の「なんてんの里」、敷原の「サニーヒルきそ」



総会議決事項

- ◆ 木曽の特色ある学校づくりについてを期する
- ◆ 医療・介護総合推進事業における地域財源の確保等についてを期する
- ◆ 出合いサポート・交流サポートなど結婚支援事業の推進についてを期する
- ◆ 木曽地域の農業振興についてを期する
- ◆ 野生鳥獣による被害対策の推進についてを期する
- ◆ 木曽病院の機能充実と住民の医療充実を求めることについてを期する
- ◆ 木曽地区主要地方道路の整備促進についてを期する

総会前に、木曽クリーンセンターを視察し、新炉建設に向けた課題と進捗状況の説明を受けた。

総会の前段では、全町村議員が5分科会に分かれて提出された議題について討論会を行い、各議題の提案及び要望事項について議論を交わした。

特色ある学校づくりに向けては、木曽地域の実情に配慮した各高校の募集人員の見直しについて県教育委員会に求めることを決め、大桑村が提案した「木曽地域の農業振興について」では、担い手不足の現状や、6次産業に向けての支援などの充実に要望することとし、

決議事項の実現に向け要望活動を進めることを確認した。

総会に先立ち、昨年の御嶽山噴火災害により犠牲になられた方々のご冥福を祈り、木曽町、王滝村の献花台で黙とうを捧げた。

(報告者 沼 友行)

全国森林環境税創設促進議員連盟総会

平成27年度の総会が、7月16日、新潟県村上市で開催された。

総会では、6年間、副会長として尽力された下起議員に感謝状が贈られた。

提出議題を審議し承認された後、森林が果たす公益的機能と重要性を広く訴え、森林、林業、山村対策の強化を図るため、二酸化炭素排出減として最も重要な機能を有する森林



感謝状を受け取る下起議員

の整備・保全を市町村が推進するために必要な森林吸収源対策及び地方の温暖化対策に関する財源確保のための新たな税財源である「全国森林環境税」の早期実現等を指すことを宣言し閉会した。

研修会では、「地方の地球温暖化対策のための財源確保」と題し、総務省担当課長の講演・意見交換が行われた。

(報告者 岩佐孝和)

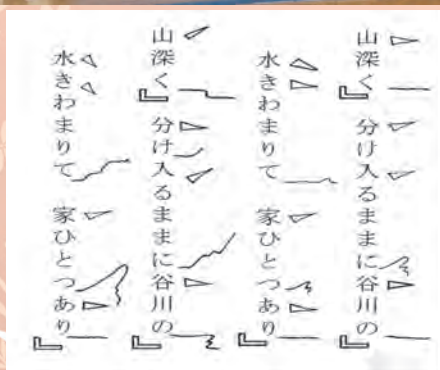


サークル紹介

第7回 詩吟

公益社団法人
日本詩吟学院認可
松本深志岳風会

木曾部会
大桑教室



昭和48年に岳風会大桑地区が発足し、43年になります。
現在は8人で、毎週火曜日午後7時から9時まで、橋場公民館において楽しんでいます。
漢詩・短歌・俳句・新体詩・俳諧歌などに符付けした教本に沿って勉強し吟詠しています。
腹式呼吸を使い大きな声を出し、健康にも貢献しています。

献しています。
作者・時代背景・詩文なども勉強するので特に、カラオケが上手になりたいあなた、歴史が好きな君、自作の俳句など詠じてみたい方、作者に興味のある人には、やりがいのある趣味となります。
阿寺溪谷の碑に、次の島木赤彦の詩が刻まれています。符付けを試みたので、声に出してうたってみましょう。
(代表 横平幸男)

朝晩めっきり冷え込んできました。
九月二十七日には御嶽山が噴火して一年がたち麓では慰霊祭が行なわれました。犠牲者の方々には改めてご冥福をお祈りいたします。
世界的に地球温暖化が進んでいると言われている今日、各地で異

編集後記

常気象による災害が頻発しています。大桑村の防災マップを改めて開いてみますと土砂災害警戒区域が住宅地の大半を占めています。自然災害はいつ起こるか分かりません。今一度防災マップを開いて、避難経路、避難場所の確認をしてみてください。

追伸。わが木曾の星「御嶽海」関を皆さんで応援しましょう。
(大前)

委員長	木戸 勘一
副委員長	瓜尾美佐子
委員	沼 友行
	水野 進
	大前今朝男

作品紹介 9



「太陽」

下起 にい奈 高杉 咲季
森畑 莉梨 戸谷 あづみ
(森のピエロの子どもたち)

太陽と光をあらわすために筆やペインティングナイフを使って油絵具で描きました。南佐久郡小海町で開催された「ほほ笑み展」に出展しました。